

みずほCustomer Desk Report 2019/01/11号(As of 2019/01/10)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.20
TKY 9:00AM	108.19	1.1555	124.99	GBP/USD	1.2800
SYD-NY High	108.52	1.1570	125.07	AUD/USD	0.7176
SYD-NY Low	107.77	1.1484	124.37		
NY 5:00 PM	108.43	1.1500	124.72		
NY DOW	24,001.92	122.80	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,986.07	28.99	日本10年債	0.0200	▲1.00bp
S&P	2,596.64	11.68	米国2年債	2.57	2.15
日経平均	20,163.80	▲263.26	米国5年債	2.57	2.01
TOPIX	1,522.01	▲13.10	米国10年債	2.74	3.39
シカゴ日経先物	20,350.00	240.00	独10年債	0.1960	▲2.20bp
ロンドンFT	6,942.87	36.24	英10年債	1.27	1.50
DAX	10,921.59	28.27	豪10年債	2.2960	▲3.55bp
ハンセン指数	26,521.43	59.11	USDJPY 1M Vol	8.18	▲0.08%
上海総合	2,535.10	▲9.25	USDJPY 3M Vol	8.35	0.17%
NY金	1,287.40	▲4.60	USDJPY 6M Vol	8.40	0.13%
WTI	52.59	0.23	USDJPY 1M 25RR	-1.55	Yen Call Over
CRB指数	178.60	▲0.44	EURJPY 3M Vol	8.82	0.12%
ドルインデックス	95.55	0.33	EURJPY 6M Vol	8.96	0.07%

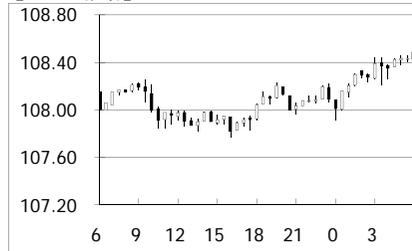
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月10日	10:30	中	CPI/PPI(前年比)	12月 1.9%/0.9% 2.1%/1.6%
	21:30	欧	ECB理事会議事要旨発表(12/12-13分)	
	22:30	米	新規失業保険申請件数	- 216k 226k
	22:35	米	パーキン・リッチモンド連銀総裁「経済を抑制しようとしてるわけではない」	
1月11日	02:00	米	パウエルFRB議長「当局は辛抱強く柔軟。様子見姿勢を想定すべきだ」	
	02:40	米	ブラッド・セントルイス連銀総裁「当局は追加利上げ観測を抑制すべきだ」	
	03:00	米	エバンズ・シカゴ連銀総裁「成り行きを見極めるために半年間は容易にまてる」	
	03:20	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁「他の金融当局者がハト派に傾きつつある様子は歓迎」	

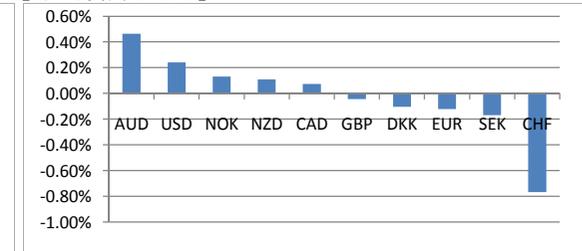
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月11日	09:30	豪	小売売上高(前月比)	11月 0.3% 0.3%
	18:30	英	貿易収支	12月 -€2.80B -€3.30B
	18:30	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	11月 0.2%/-0.7% -0.6%/-0.8%
	18:30	英	製造業生産(前月比/前年比)	11月 0.4%/-0.7% -0.9%/-1.0%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	12月 -0.1%/-1.9% 0.0%/2.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-109.00	1.1450-1.1600	124.00-126.0

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は海外時間に上昇。アジア時間については、株の軟調な推移やドル安の動き等を背景にドル円は節目の108円を割れ下落。その後は、FRB高官のハト派発言等を背景にしたリスク資産の堅調な推移等を背景にドル円は上昇し結局108.43で引け。本日については、底堅い推移を想定。米12月消費者物価指数の結果に注目しつつも、足許堅調に推移する株などのリスク資産が上昇する場合に、どこまで円売り圧力が強まるかがポイントとなる。

東京	東京時間のドル円は108.19レベルでオープン。前場に日経平均株価が約300円下落すると、ドル円も108円を割り込んだ。その後は、前日のFRB高官のハト派発言を受けた米利上げペース後退等が上値を抑える一方で、米中貿易協議による米中対立緩和期待が下値をサポートし、方向感なく推移。107.95レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は107.95レベルでオープン。3日間にわたる米中次官級貿易協議が終了し声明が発表されたことで、材料で尽くし感から、円買いが優勢となる。107.77まで下落。その後はNY時間にパウエルFRB議長の講演を控え、様子見ムード。結局、オープンとほぼ同水準の108.08レベルでNYに渡った。ユーロは1.1555レベルでオープン。スペイン経済相が2019年の同国の経済成長率予想を2.2%に下方修正したこと等から1.1534レベル迄低下してNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は108.08レベルでNYオープン。NY朝方は米新規失業保険申請件数が予想を若干下回る、ドル円の反応は限定的となる。米株式市場が軟調に寄り付く展開を受け、円買いが再び強まりドル円は107.92まで反落するが、パウエル議長の講演を控え株式市場が切り返す動きに108.30まで戻す。注目のパウエル議長の講演は12/19のFOMCの記者会見と似たような内容で、特段サプライズは無し。その後、米30年債入札結果で応札倍率が前回から低下したこと、米長期金利が上昇する動きにドル円は108.44まで上昇。NY午後はトランプ大統領がボス会議への出席取りやめを正式に発表し、ややドル円を下げたが、NY終盤に掛けてドルが買い戻される展開に、ドル円は底堅く推移し108.52まで戻し、108.43レベルでクローズした。ユーロは1.1534レベルでNYオープン。NY朝方はやや買い戻される局面もあったものの、パウエル議長の講演を控え、調整からドルが買い戻される展開にユーロは1.1505まで下落。NY午後はヒルロッドガロー中銀総裁が「春までは更なる政策を指し示す必要はない」「賃金上昇はまだコアインフレに現れていない」等の発言が伝わり、米超長期債の入札結果もアドルが買われる展開にユーロは1.1484まで反落し、1.1500レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 藤巻・田家